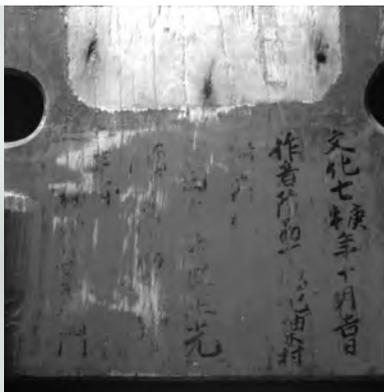


学生の調査と最新技術がつなぐ奈良と山口の縁
200年の時を超えて、兄弟獅子が故郷で再会
3Dモデリングによる「令和の獅子頭」も登場し
6月3日(金)12:15～東生駒キャンパスで「令和の獅子頭」開眼式



獅子頭/帝塚山大学附属博物館所蔵



獅子頭下顎部赤外線写真(帝塚山大学附属博物館所蔵獅子頭)



獅子頭/刀禰(川内)獅子舞保存会所蔵

帝塚山大学(学長:蓮花一己 所在地:奈良市帝塚山7-1-1)文学部日本文化学科(学部長:清水昭博)の学生と人文科学研究科の大学院生の調査により、**本学附属博物館が所蔵する獅子頭が約200年前に山口県山口市の徳地地域で制作されたもの**ということがわかりました。同地では現在も旧暦の1月11日に火伏祈願の獅子舞が奉納されており、さらに調査を進めた結果、**本学の獅子頭と同じ文化年間の銘を持つ獅子頭が徳地柚木の柚木神社に保管されていることが判明**。これをきっかけに、山口市歴史民俗資料館(山口市春日町5-1)での展示会が実現し、**同じ作者の手による兄弟獅子が生まれ故郷の山口県で200年ぶりの再会**を果たします。

また、地域文化の保存・継承を目的に、**最新鋭の3Dレーザースキャナーによるモデリングで本学所蔵の獅子頭の超軽量3Dモデルを作成し、「令和の獅子頭」として兄弟獅子頭と山口で同時展示**します。

山口の展示会へ旅立つ「本学の獅子頭」と「令和の獅子頭」の壮行を兼ねて、**6月3日(金)12:15～東生駒キャンパスで、「令和の獅子頭」の開眼式を実施**します。調査と展示、獅子頭作成に関わった学生が「令和の獅子頭」の目玉を入れ、「和州(奈良県の古名)」と令和の文字を墨で書き入れます。

【本件のポイント】

- 由来不明だった本学所蔵の獅子頭の墨書に奈良大学の協力を得て赤外線撮影を実施。同じ銘を持つ獅子頭が山口県の柚木神社に保管されていることが判明し、200年ぶりに出自が明らかに
- 山口市歴史民俗資料館で兄弟獅子頭の展示会を開催(6/7(火)～)。大阪電気通信大学の協力のもと、同大保有の3Dレーザースキャナーで3Dモデル化した「令和の獅子頭」も同時展示
- 「令和の獅子頭」の開眼式を6月3日(金)12:15～東生駒キャンパスで実施
- 徳地地区の伝統文化である獅子舞を子どもに受け継いでもらうために、「令和の獅子頭」を使用した獅子舞体験を実施(7/9(土))

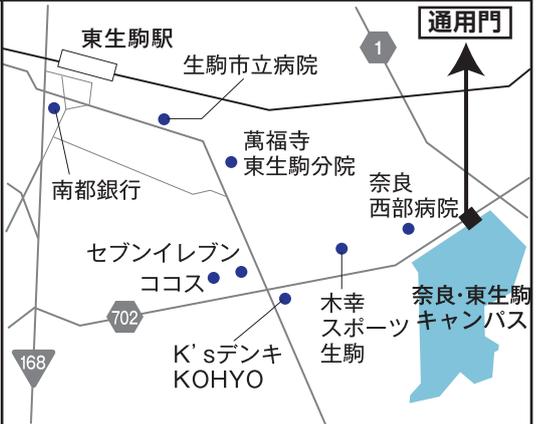
貴社メディアにおかれましても、ぜひ趣旨をお汲み取りいただき、取材ならびに報道のご協力をよろしくお願い申し上げます。

本件に関する
お問合せ

帝塚山大学 入試広報課 〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1
Tel:0742-48-9149 E-mail:koho@jimu.tezukayama-u.ac.jp(担当:鈴木)

報道関係各位

2022年5月26日

「令和の獅子頭」開眼式	場所
<p>3Dモデリングした再現模型「令和の獅子頭」に目を書き入れ、墨書を入れる開眼式を行います。比較できるようにオリジナルの獅子頭も準備しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 【日時】 2022年6月3日(金) 12:15～ 【場所】 帝塚山大学 東生駒キャンパス 1号館2F 会議室 (奈良市帝塚山7-1-1) 【参加者】 文学部日本文化学科学生らによるプロジェクトチームメンバー、担当教員 <p>※これまでの課程の写真や動画の素材もご提供できます。 ※学生や教員のインタビューも手配可能です。</p>	

【本件の背景】

コロナ禍がきっかけとなった、200年ぶりの兄弟獅子の再会

本学の実習授業で使用されていた古びた獅子頭。30年ほど前に古美術商から購入したらしいということしかわかっておらず、由来を探ろうにも、獅子頭の下顎部分に記された「文化七庚午年十月吉日」という墨書以外は目視で判別できない状態でした。

コロナ禍のために学生や大学院生が研究フィールドワークに行けなかった昨年度、大学所蔵の文化財を活用して研究を進めようと、この獅子頭に目をつけたのが山口と奈良を結ぶドラマの始まりでした。2021年7月、奈良大学の協力で獅子頭の赤外線撮影調査を実施。かすれた墨書から「防州徳地柚木村」の文字が浮かび上がりました。山口市歴史資料館に照会したところ、同じ文化年間の銘を持つ獅子頭が柚木神社に保管されていることが判明。両者の墨書を比較した結果、同じ作者が手掛けた制作年が1年しか変わらない兄弟獅子だということが明らかになったのです。これらの調査結果をもとに、2つの獅子頭の子口市歴史民俗資料館(山口県山口市春日町5-1)での展示が実現。200年ぶりに、兄弟がふるさとの山口で再会することになりました。



本件に関する
お問合せ

帝塚山大学 入試広報課 〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1
Tel:0742-48-9149 E-mail:koho@jimu.tezukayama-u.ac.jp(担当:鈴木)

報道関係各位

2022年5月26日

地域伝統文化の継承を目指した新たな展開 「令和の獅子頭」誕生

展示会に向けて徳地柚木地域の関係者と打ち合わせをするうちに、同地区では地域文化の継承を目的として、伝統の獅子舞を子どもに伝える活動を積極的に行われていることを知りました。また、本物の獅子頭は重いために、子どもに獅子舞を体験してもらいにくいという課題があることもわかりました。

それを聞いた学生は、「伝統の獅子舞を子どもたちに気軽に体験してもらいたい！」と、大学連携を結ぶ大阪電気通信大学の協力を得て、最新の3Dレーザー



スキャナーで発砲スチロールの獅子頭作成に着手しました。オリジナルの兄弟獅子頭の色をもとに、アクリル絵の具とニスで忠実に色味も再現。6月3日(金)の開眼式で目を書き入れ、令和の銘を入れ、子どもでも人差し指で持ち上げられるほど軽量の「令和の獅子頭」が完成しました。

「令和の獅子頭」も兄弟獅子頭と同時に山口市民俗資料館で展示予定。7月9日(土)には柚木小学校の児童を招いて、「令和の獅子頭」を使った獅子舞体験を行います。

【展示会&イベント情報】

兄弟獅子と「令和の獅子頭」が一堂に会する展示会

展示会 「獅子頭 つながる人と郷土」

会期:2022年6月7日(火)~8月7日(日)

場所:山口市歴史民俗資料館(Tel/FAX 083-924-7001)

休館日:月曜(ただし祝日の場合は開館し、翌日休館) 展示替え(7月4日(月)~6日(水))

観覧料:一般110円(20人以上団体割引)

※18歳以下の方、70歳以上の方、障がいのある方とその付き添いの方は無料

報告会「帝塚山大学獅子頭と柚木神社獅子頭」
最新技術でつながる奈良と山口の獅子頭

※本学の学生が調査結果を報告。獅子舞体験も行います。

日時 7月9日(土) 13:00-15:00
定員 20名 参加費 無料
場所 山口市歴史民俗資料館
申込締め切り 7月8日(金)

本件に関する
お問合せ

帝塚山大学 入試広報課 〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1
Tel:0742-48-9149 E-mail:koho@jimu.tezukayama-u.ac.jp(担当:鈴木)

